

ワイヤレス チャイム 取扱説明書

安全上のご注意 必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、重要な内容の記載があります。それは、お使いになる方や他の方への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくためです。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みいただき、記載事項を必ずお守りください。

□図記号の説明

警告 「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

□表示の説明

禁止 してはいけない「禁止」内容です。

必ず実行していただく内容です。

警告

禁止 ●本製品は防水仕様ではないため、風呂場など、水気の多い場所で使用しない。火災・感電・故障の原因となります。

分解禁止 ●絶対に分解、改造、修理はしない。故障・発火・感電・けがの原因となります。

守る ●幼児の手の届かないところに保管する。

禁止 ●本製品を水につけたり、かけたりしない。ショート・火災・感電の原因となります。
●不安定な場所で使用しない。落下してけがや破損の原因となります。
●心臓用ペースメーカーを使用している方や、使用している方が近くにいる場合、及び特殊な医療機器付近では送信機を1m以上離して使用する。医療機器の作動に影響を与えるおそれがあります。

注意

禁止 ●熱器具や火気のそばで使用しない。本体が変形し、火災、感電、故障の原因となります。
●両面テープは塗装面、凹凸面、ザラザラした面などはがれやすい場所で使用しない。落下によるけがや本体の破損の原因となります。

守る ●お子様がお使いになる場合はお子様がいたずらをしたり、他人に危害を及ぼさないよう十分に指導する。

電池を安全にお使いいただくために

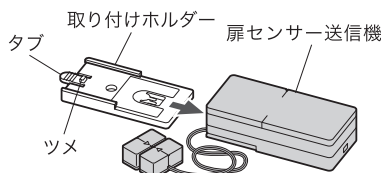
電池の使い方を誤ると電池が液もれをおこし、発熱や破裂したり、けがや各機器の故障の原因となるので以下を必ず守ってください。

- 電池の液が目に入ったときは失明などのおそれがあるので、すぐに大量の水道水などのきれいな水で洗い流した後、直ちに医師の治療を受ける。
- 機器の指示に従って、⊕と⊖を正しく入れる。
- 電池は充電しない。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、機器から取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したり、火に入れたりしない。
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置く。誤って飲み込んだ場合は、すぐ医師へ相談する。
- 電池の液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐに大量の水道水などで洗い流す。
- 落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えない。
- 電池に直接はんだ付けしない。
- 電池を廃棄する場合、自治体の条例などの定めがあるときは、その指示に従う。
- 電池を保管や廃棄する場合は、他の電池や金属製のものと接触しないようにテープなどで端子部を絶縁する。

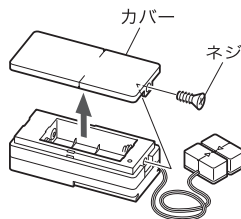
1. 電池の入れ方

電池交換の際も同様の手順で行います。
※呼び出し音が小さくなったり、動作が不安定になってきたら早めの電池交換をお勧めします。

- ①タブを押しながら扉センサー送信機を引き抜きます。
- ③図のように単4形アルカリ乾電池を⊕⊖正しくセットします。

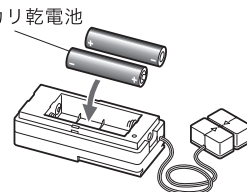


- ②ネジを外して、カバーを取り外します。



- ④カバーを元通りに取り付けます。

単4形アルカリ乾電池
2本(別売)

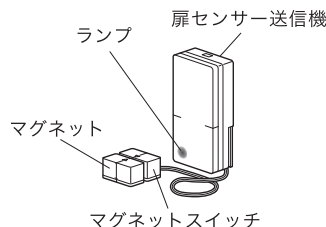


■電池交換お知らせ機能

・扉センサー送信機は電池切れが近づくと、ランプが点滅(赤色)します。

2. 送信機の登録方法

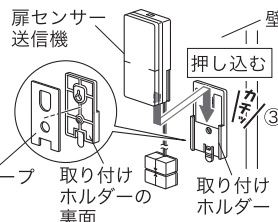
※受信機の取扱説明書を参照して設定してください。お手元がない場合は当社ホームページでご確認ください。



3. 設置方法

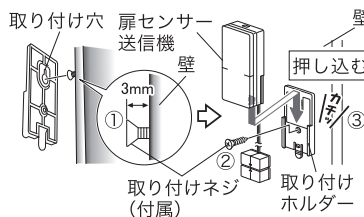
■両面テープ(付属)で壁に取り付ける場合

- ①貼り付ける部分の水分、ほこりや汚れなどをきれいに拭き取ります。
- ②両面テープで取り付けホルダーを壁に貼り付けます。
- ③扉センサー送信機をカチッと音がするまで押し込んで取り付けます。



■取り付けネジ(付属)で壁に取り付ける場合

- ①取り付けの壁に取り付けネジを固定します。
- ②取り付けホルダーの取り付け穴を引っ掛け、取り付けネジで固定します。
- ③扉センサー送信機をカチッと音がするまで押し込んで取り付けます。



マグネットの取り付け

扉を閉じた時に、マグネットのすき間が5mm以内になるように△マークを合わせて貼り付けます。

